

超現代 本公演

構成・演出 柳沼昭徳(烏丸ストロークロック)

ミエ・演劇ラボ2022×烏丸ストロークロック
ホニホニマー舎

物語の舞台は過疎化の進む架空の町、梅阪市飯田町。ここで実施されたベーシックインカム※導入実験に集まった人々が、立場も送ってきた人生も異なる同士や地元住民との交流を重ねる中で、人との繋がりや経済的平等の矛盾に直面していく。それぞれの生き方を実現できる社会の未来の姿をリアルに追求する群像劇。

※ベーシックインカム...最低限の所得保障のため、すべての人に無条件で一定額のお金を定期的に給付する制度

ミエ・演劇ラボ×烏丸ストロークロックは、京都の劇団「烏丸ストロークロック」の柳沼昭徳氏・澤雅展氏を講師に迎え、2018年4月に開講。“2025年、近未来の私たちを考える”をテーマに、公募が集まったメンバーが、1年ごとに小作品を制作し、3年かけて長編作品を創り上げることに挑戦しました。1年目は、メンバーが個々に人々の日常風景を切り取り表現した作品、2年目は、グループワークを通じ時代を超えて通底する社会の普遍性を見出した、現代を漂う一人の少女の物語をそれぞれ上演しました。集大成となる3年目は、メンバー全員がこれまで蓄えてきたものを頼りに舞台設定を考え、ディスカッションを重ねながら1本の戯曲が完成。2021年3月に予定していた本公演は、コロナ禍の影響を受けリーディング公演となりましたが、その後も積極的にオンラインでも集まり作品をブラッシュアップ、時間と共に変化していくメンバーの状況や関係性が、架空のコミュニティに生きる人々を舞台上でまざまざと再現する作品に至らせました。

出演 今泉佳子 岡本拓也 すがとも 図師久美子 新美くろ 古田圭子 森下実雪 梨香 澤雅展(烏丸ストロークロック)



撮影:松原豊

演劇は人の居場所になる

ホニホニマー舎とは、伊勢弁「ほにほにまあ(=本当に、まあ)」に由来します。大人たちがいたずら坊主を叱る中、おばあちゃんだけが微笑みながら「ほにほにまあ」と見守り、いつでも受け入れてくれる—そんな居場所をつくりたい、という思いから名付けました。様々の立場、価値観のメンバーが、気張らず、自然に、互いの違いを楽しみながら、出来ることからぼちぼちと作品づくりに取り組んでいます。

烏丸ストロークロックについて

1999年、柳沼昭徳らによって設立。京都を拠点に国内各地で活動を行う。社会の抱える不全とそれが及ぼす人々への影響を描く。一つの題材に対して数年をかけて短編を連作しながら、長編作品へと昇華させていくスタイルが評価され、近年は演劇ワークショップや市民参加型の創作も多くなってきている。

演出助手:澤雅展 脚本:岡本拓也 舞台監督:中野ひかり 照明:岡田江津子 音響:山際一輝
宣伝美術:橋本純司 宣伝写真:松原豊 制作協力:富田明日香(烏丸ストロークロック)
協力:久保田千尋、有限会社現場サイド、有限会社アトリエ

チケット発売日:2022年8月13日(土)10:00開始

10月15日(土)14:00開演・16日(日)14:00開演

※受付開始は開演の45分前、開場は開演の30分前

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター 三重県文化会館 小ホール 三重県津市一身田上津部田1234

一般前売 2,000円 22歳以下前売 1,000円(当日は各料金に+500円) ※入場整理番号付き自由席

※22歳以下チケットは当日受付にて要証明。※未就学児の入場はご遠慮ください。
※10月16日(日)の回は託児サービスがございます。(有料・要申込) 公演2週間前までに三重県文化会館チケットカウンターまでお申込みください。

チケット取り扱い

三重県文化会館チケットカウンター TEL059-233-1122(10:00~17:00/月曜または月祝翌平日休館)
ホニホニマー舎 予約フォーム <https://www.center-mie.or.jp/bunka/event/detail/40362>

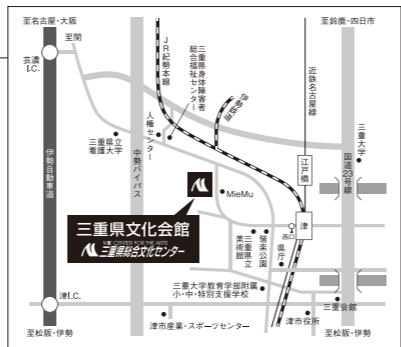


問い合わせ先

三重県文化会館チケットカウンター TEL059-233-1122
ホニホニマー舎 E-Mail honihonima@gmail.com Twitter @honihonimaasya Facebook <https://www.facebook.com/honihonimaasya/>

主催:三重県文化会館[指定管理者:公益財団法人三重県文化振興事業団]
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 文化庁

※三重県のガイドラインにおける「主催のイベントの開催基準」に則って開催します。感染症対策についてはご来場前に三重県文化会館ホームページをご覧ください。
※今後の社会情勢により、やむを得ず出演者の変更および公演を中止・延期する場合がございます。



近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」西口より
三重交通路線バス(系統番号89)約5分、徒歩約25分
伊勢自動車道「津IC」より約10分/「芸濃IC」より約15分

2025年をテーマに長編創作に挑む、ミエ・演劇ラボ3年間の集大成公演

ミエ・演劇ラボ2022×烏丸ストロークロック
ホニホニマー舎

現代から未来への足がかり



構成・演出 柳沼昭徳(烏丸ストロークロック)

超現代 本公演

2022年10月15日(土)・16日(日) MIE CENTER FOR THE ARTS 三重県総合文化センター 三重県文化会館 小ホール

経験もなく仕事が続かず休みがちな人を、大学教授のコネだということで採用しなければならなかった ネットによる出会いで人間関係がインスタント 趣味が貯金の後輩と話すことがない

ほしい答えばかり求められて嫌になる

人と違うってそんなに駄目なことですか？

SNSに踊らされ、惑わされ、苦しむ人が増えた。便利と不便は表裏一体。

新卒で入った時の営業職手取り13万だった

私たちが考える
#生きづらさを生きる私たち
「なんで結婚しなかったの？」
「なんで結婚しなかったの？」
「なんで結婚しなかったの？」
「なんで結婚しなかったの？」

薬の副作用で髪の毛が抜けてしまった

働き方改革で仕事は減らないのに働く時間だけ削られる

最近の母。人の名前も、物の名前も忘れて、ナゾナゾだらけ。スマホで調べている間に会話がなんだったのかも忘れる。

SNSからの更新やいいねのお知らせ気になる

自分が発案した企画が、上司の手柄に

中高年になって老いる自分との折り合いがつかず鬱になる

ストレスのはけ口を求めているクレーマー

子どもは日に日に出来る事が増えていくのに、自分は日に日に出来ないことが増えていく

「あわせ症候群」…幸せじゃないと生きてちやいけいないの？

「いい歳して…」
「〇歳になったんだから…」
年齢でやりたいことをセーブされたり、やらなければならぬことを決めつけられる

「リーズナブル」の感覚が違すぎて距離置きたい…

働けば働くだけ出ていくお金も増えていく。

好きなことしてるから良いよって、好きなことできない世の中の方がおかしくない？

マスク補正の弊害で挨拶もそそろ

リア繋がりSNSでの "褒め殺し" 合戦

一度手痛い背信行為を受けてから、自分に向けられる笑顔の真意を探つてしまいがち

男がバリバリ働いて一家を支える大黒柱にならなくなったって、マメな専業主婦でもいいんじゃない？

自分が思っている以上に、上司に生かされてるかもしれない

職場では「物言え」が減った。意見を言えることが馬鹿らしくなってくる。

自分より仕事ができない正社員の方が多く給料もらってる

出社して顔を合わせるだけでコミュニケーション取った気になっている上司

つつい、また精神科医のYouTubeみてる

あなたの幸せ基準は、わたしの幸せ基準じゃない。

家族には縁がない。姉の家族が増えるにつれ、一緒にいる時間減っていく

女は結婚して子どもを育てることが役割で、それが幸せの根源！って決めつけられないよ。

リモート授業がなくなってきて学生で溢れ返っている通勤電車で辟易する

結婚していない子どももいないのに、他人から「奥さん」とか「お母さん」とか呼ばれる

隣から大声で聞こえてくる夫婦喧嘩の声

自己承認欲求不満の人々が

「人生100年時代」と言われても…
高級ランチ誘われても行けませんッ(T^T)

「コロナ禍」を不参加の理由にしていたけど、通用しなくなってくる気配…

会社のミーティングを企画するグループ通称「イベント決死隊」。名前しんど

「演劇やっています」と言うといいわねー、いつまでも好きなことがやれて」とほめ返される

君ももう既婚者だねと言われる時、ひりつく心はまだ残ってる

老後のことばかり心配して、地続きの今を変えようとしれない自分

妹の結婚式で親戚に「順番が違わんじやない？」と言われた

若いからって何度も部長やらされる

「コロナワクチンが種なんですか？」「接種しないとかった時大変だよって」
「接種しないとかった時大変だよって」
「接種しないとかった時大変だよって」
「接種しないとかった時大変だよって」

全否定された経験から、自分を信じることができない…自己肯定感を持ってない

友人が出産ラッシュで一人だけ話についていけない

コンプライアンスも大事だけど、全てじゃない

AIで代われない仕事が減れば、失業するかもしれない

何にでも税金かけないで

ネットで大きな声で叫べば人が載れるの怖くない？

味方がいない

上司に「論理的思考力が弱い」と言われ続け、頭が悪いと言われているみたいで辛い

パソコンの操作が上手く出来ず部下に呆れられる

耳が遠い父親との会話。話が通じない。家族全員が大声になり窓が開けられない。

多様性っていいながら、都合よく生きようとしてない？

男の人。縁はあっても運はない。

子供が熱を出したので会社を早退しようとしたら「娘は何してるの？」と上司に言われた

友達みんなスマホを持っているのに自分だけ親に持たせてもらえない

「演劇やっています」と言うといいわねー、いつまでも好きなことがやれて」とほめ返される

「演劇やっています」と言うといいわねー、いつまでも好きなことがやれて」とほめ返される

「演劇やっています」と言うといいわねー、いつまでも好きなことがやれて」とほめ返される